

高校生模擬議会での提案が「形」となる 高校生学習室がオープン

めぶく
地域活性化プロジェクト



探究通信 第2号 R3.5.24



生徒会本部役員は登録と学習室入室の一番乗りを果たした

5月1日(土)、アクエル前橋に「前橋市高校生学習室」がオープンした。本施設ができた背景には、2年前の高校生模擬議会での本校生徒からの提案がある。

生徒会がオープニングセミナーに出席

前橋市長、市教育長、アクエル前橋の運営会社社長、クエル前橋の運営会社社長らに続き、生徒会長の井上尚重くん(元総社中出身)が、本校を代表して立派に挨拶を行った。「自分もそ



挨拶とテープカットを務めた(右)

うだが、周囲の友人からも家で集中して学習できないという声を聞く。学習スペースができることを心待ちにしていた。先輩方の提案が活かされたのも嬉しい。活用していきたい」と話した。また、共に出席した櫻井心叶彩さん(伊勢崎三中出身)は「電車通学ということもあり、前橋駅の近くに学習室ができて本当に嬉しい」と話し、早速学習を始めていた。初日ではあったが、他校の生徒も含め、30人ほどがオープンを待つ列を作っていた。施設を利用するには登録が必要(無料)。



昨年年度参加をしたカフーン藍羅さん(前橋一中出身)は「どんな小さな疑問でもアイデアでも、できるだけたくさん出すことの大切さを実感した。発信をすることで話し合いが円滑に進み、よりよいものが作り出せる」と話す。その経験は2年次に行つた「模擬市長選」や

地域探究オリエンテーション参加者募集

5月6日(木)に2年生を対象に、「国立赤城青少年交流の家」より講師の先生をお招きし、「地域探究プログラム」のガイダンスを行い、今年度の参加者を募った。本プログラムに参加することで、本校で取り組んでいる探究学習「地域活性化プロジェクト」について深く学ぶことができる(写真はすべて昨年度の地域探究プログラムのオリエンテーション合宿でのもの)。



「高校生模擬議会」でも大いに活かされたと言う。今

けやき祭、迫る

年度の合宿は7月18、19日。20名の参加者を募集している。合宿での学びを元に、今冬、国立信州高遠青少年自然の家で開催される地域探究アワード・地方ステーションへの参加を予定している。

6月4・5日にけやき祭が行われる(今年度は無観客での実施)。1年生は探究学習における地域活性化の観点から、前橋市の商店とのコラボレーション企画を行う。1年1組は、前橋テルサで行われている「ハニープロジェクト」と「MANSOON DONUTS」。2組は「ROBSON CO FEEEL」。3組は「駒井園」。4組は「チーズケーキともの店」、5組は「わがじやんと」。「みるみの森」。6組は「喫茶こまち」と「小出商店」。どのクラスもそれぞれの商店の紹介や代理販売などを行い、発表や展示の仕方に工夫を凝らす。本校が昨年度まで1年次に行っていった「前橋中心商店街フィールドワーク」でお世話になっていた商店にも協力をいただいていたおり、商店街や紹介した店舗に足を運びたいような仕掛けをつくっている。